



令和5年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業

児童養護施設等のICT化による
効果的な事務処理のための調査研究

ヒアリング結果詳細

KPMGコンサルティング株式会社

令和5年3月

① A施設 (2023/11/28) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因 (※1)	対策 (※2)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:職員の勤務表の作成・更新 ✓ 4:児童に係る各種記録の作成・確認 ✓ 5:施設内の事務手続き ✓ 7:職員の孤立化 ✓ 8:職員の人手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:児童福祉の勤務形態にあった勤務表のシステムが見つからず Microsoft Excelで作成しており、負担が生じる。 ✓ 4:紙で確認しており、出張により事務室に行けない場合は、確認する量が多くなり、負担が生じる。 ✓ 5:法人で決裁の電子化を検討中であるが適切なシステムが見つからず、現在紙決裁により、閲覧できる時間が合わず負担が生じる。 ✓ 7:コロナ禍で本体施設との交流が減ることで職員が孤立を感じる。 ✓ 8:今後地域分散化が進むに伴い、職員の人手不足が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:勤務表作成ツールの導入を検討する。 ✓ 4:児童記録システムの導入を検討する。 ✓ 5:電子決裁システムの導入を検討する。 ✓ 7:施設の組織体制の見直しを検討する。 (例.定期的なSVの実施、メンター制度の導入) ✓ 8:SNSを活用した施設の広報活動を検討する。
「自治体」関連	✓ なし	✓ なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:勤務表作成ツールの導入費用の助成を検討する。 ✓ 4:児童記録システム導入費用の助成を検討する。 ✓ 5:電子決裁システム導入費用の助成を検討する。
「国」関連	✓ なし	✓ なし	
その他	✓ なし	✓ なし	✓ なし

(※1) 薄黄色塗りつぶし箇所は、「小規模化・地域分散化」に関する内容。

(※2) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

① A施設 (2023/11/28) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策 (現在工夫していること = ベストプラクティス)	横展開可能性 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:職員間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:グループウェア導入前は、情報の一斉周知の手段がないことから、個別に連絡するなど負担が生じていた。グループウェア (「LINE WORKS」) 導入後は、場所・時間の制約なく、情報の一斉周知ができています。(活用に際しては、児童の実名を入れない等の決まり事を整理した規約を設けており、職員間で周知徹底している。) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:グループウェアの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

② B施設 (2023/12/14) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因 (※1)	対策 (※2)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:職員の勤怠管理 ✓ 5:各種書類の決裁・とりまとめ ✓ 7:職員の孤立化 ✓ 11:拠点場所の確保が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:超過勤務の前後に申請・報告書を出し、確認するといった手続きに負担が生じる。 ✓ 5-1:日中は児童の支援に付き切りになるため、決裁を取れる時間帯が定時以降になり負担が生じる。 ✓ 5-2:セキュリティ面に不安があることから決裁書類は紙で回覧しているため、待ち時間が発生し、負担が生じる。 ✓ 7:拠点の職員が少数であることから、孤立や閉塞感を感じる。 ✓ 11:地域住民からの反対により、拠点の場所の確保ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:勤怠管理システムの導入を検討する。 ✓ 5-1,5-2:電子決裁システムの導入を検討する。 ✓ 7:施設の組織体制の見直しを検討する。 (例.定期的なSVの実施、メンター制度の導入) ✓ 11:SNSを活用した施設の広報活動を検討する。
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:勤怠管理システムの導入費用の助成を検討する。 ✓ 5-1,5-2:電子決裁システムの導入費用の助成を検討する。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 薄黄色塗りつぶし箇所は、「小規模化・地域分散化」に関する内容。

(※2) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

ヒアリング結果詳細

② B施設 (2023/12/14) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策 (現在工夫していること = ベストプラクティス)	横展開可能性 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:職員間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:グループウェア導入前は、情報の一斉周知の手段がないことから、個別に連絡するなど負担が生じていた。 グループウェア (「LINE WORKS」) 導入後は、場所・時間の制約なく、情報の一斉周知ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:グループウェアの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

③ C施設 (2023/12/18) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因 (※1)	対策 (※2)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:児童に係る各種記録の作成・確認 ✓ 7:職員の孤立化 ✓ 8:職員の人手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:職員必要台数分のパソコンがないため、業務時間外に作成せざるを得ず、負担が生じる。 ✓ 7:拠点の職員が少人数であることから、孤立や閉塞感を感じる。 ✓ 8:拠点の増加により、新たな職員の補充が必要になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:職員必要台数分のパソコンの購入を検討する。 ✓ 7:施設の組織体制の見直しを検討する。 (例.定期的なSVの実施、メンター制度の導入) ✓ 8:SNSを活用した施設の広報活動を検討する。
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:自治体からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12-1:回答期限がタイトであることから、回答期間が短いため、負担が生じる。(なお、自治体ではオンラインによる調査も増えてきている。郵送不要のため、その分回答期間も長くなり、手書きより負担は少ない) ✓ 12-2:調査内容が多岐にわたり煩雑であるため、回答に誤りが生じやすく、誤りがあつた際には調査元とやり取りが発生するため負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:職員必要台数分のパソコンの購入費用の助成を検討する。 ✓ 4:BYOD (Bring Your Own Device) のポリシーを定め、職員が自身のICT機器を業務で使用できるように検討する。 ✓ 12-1,12-2,14:調査の電子化を検討する。(ただし、ICT機器がなく紙のみで運用する施設がある場合には、紙による調査も併用する。)
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:国からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:上記の12-1,12-2と同様。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 薄黄色塗りつぶし箇所は、「小規模化・地域分散化」に関する内容。

(※2) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

③ C施設 (2023/12/18) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策 (現在工夫していること=ベストプラクティス) (※1)	横展開可能性 (※2)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:職員間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:グループウェア導入前は、情報の一斉周知の手段がないことから、個別に連絡するなど負担が生じていた。グループウェア (「LINE WORKS」) 導入後は、場所・時間の制約なく、情報の一斉周知ができています。(活用之际は、セキュリティや情報管理に留意するために、利用マニュアルを作成し職員間で周知徹底している。) ✓ 6-2:児童の有事の際に、本園・拠点の職員が連携できるように、本園と拠点に防犯カメラを設置し、パソコンから相互の情報を、遠隔で見られるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6-1:グループウェアの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。 ✓ 6-2:防犯カメラの設置は、資金が潤沢にない法人では導入が難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 薄黄色塗りつぶし箇所は、「小規模化・地域分散化」に関する内容。

(※2) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

④ D施設 (2024/01/11) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因	対策 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:児童に係る各種記録の作成・確認 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4-1:大学生等の求人者に、乳児院全般の認知が浸透していないことから、応募が少ないため、事務の人員が十分でなく、負担が生じる。 ✓ 4-2:医療センターの付属施設であることから、医療的ケアを要する乳児が多いため、通常より支援に多くの時間を要する。時間を要する分、児童に係る記録作成は、お昼休憩の隙間時間や業務時間外に対応せざるを得ないが、事務の人員が十分でなく、負担が生じる。 ✓ 4-3:ネットワークが3つに分かれており、施設のセキュリティルールの制約があることから、互換性がなく、相互に情報の送受信ができず、児童の情報の確認時は、各パソコンからプリントアウトしており、負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4-1:SNSを活用した施設の広報活動を検討する。 ✓ 4-2,7,9:事務員の配置を検討する。 ✓ 4-3:セキュリティルールの見直しを図ることで、ネットワーク間の情報の送受信を可能にする。
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:各種補助金申請や調査回答等の事務全般 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:国が定める「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」において、事務員は、乳児の定員数に関わらず1名であるが、当施設では乳児の定員数が多いため、業務量に対して、人員が少ないことから、職員1人あたりの負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4-2,12,14:事務員の人員費の助成を検討する。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:各種補助金申請や調査回答等の事務全般 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:上記の12と同様。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	

(※1) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

④ D施設 (2024/01/11) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策 (現在工夫していること = ベストプラクティス)	横展開可能性 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:職員間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:乳児の数が多いことから、職員間での情報共有に負担を要していたが、処遇援助システムを活用することで、職員は共通のシステム上で乳児の情報を把握できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:処遇援助システムの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑤ E施設 (2024/01/11) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因	対策 (※1)
「施設」関連	<p>✓ 6:職員間の情報共有</p>	<p>✓ 6:児童心理治療施設では、心理治療を必要とする突発的な加害行動のある児童が多い傾向から、職員間で緊急で連絡をとる必要があり負担が生じる。職員は、緊急連絡用にポケットサイズSOSボタン機器を携帯しており、ボタンを押すことで各職員の機器にボタンの数値が表示され、トラブルが起きた「場所」がわかる。他方、トラブルの「内容」がわからないことから、具体的な状況が把握できないことに負担が生じる。</p>	<p>✓ 6:職員間の情報連携のためのICT機器の導入を検討する。</p>
「自治体」関連	<p>✓ なし</p>	<p>✓ なし</p>	<p>✓ 6:職員間の情報連携のためのICT機器の導入費用の助成を検討する。</p>
「国」関連	<p>✓ なし</p>	<p>✓ なし</p>	<p>✓ なし</p>
その他	<p>✓ なし</p>	<p>✓ なし</p>	<p>✓ なし</p>

(※1) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑤ E施設 (2024/01/11) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対 策 (現在工夫していること = ベストプラクティス)	横展開可能性 (※1)
「施設」関連	<p>(※負担を感じていた事務ではないが施設のベストプラクティスとして右記がある)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:児童の安否情報に係る保護者とのやり取り 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:地震等の有事の際に、児童の安否情報をどのように保護者に連絡するかを検討していたが、災害用伝言版 (「web171」) を導入することで、保護者への児童の安否情報の連絡方法を確立している。(事前に保護者のメールアドレスをweb171に登録しておくことで、有事の際に、web171を通じて保護者にメールが可能。) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:災害用伝言版 (「web171」) の導入は、費用負担や技術的要因がなく、どの施設でも実施が見込めることから、横展開可能性は高いと史料。
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑥ F施設 (2023/12/14) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因	対策 (※1)	
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5: 決裁業務 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5: 紙に慣れている職員が多いことから、紙による決裁をとっているが、決裁をとる相手が多くかつ建物を移動する必要があるため、負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5: 電子決裁システムの導入を検討する。 (電子決裁システムの導入にあたっては、職員がオンラインコミュニティ (例: チャボナビ) を活用し情報収集を図ることで、施設に即した電子決裁システムを取り入れることとする。) 	
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12: 自治体からの調査・メール内容の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12: 調査・メールの趣旨がわかりづらいことから、自施設が回答すべきであるかが不明瞭であるため、内容を理解するのに負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5: 電子決裁システムの導入費用の助成を検討する。 ✓ 12, 14, 16: 施設に求める調査内容の簡素化を検討する。 	
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14: 国からの調査・メール内容の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14: 上記の12と同様 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16: 協議会からの調査・メール内容の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16: 上記の12と同様 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑥ F施設（2023/12/14）【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策（現在工夫していること＝ベストプラクティス）	横展開可能性（※1）
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:職員間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:グループウェア導入前は、協議会や行政からくる大量のメールを管理する方法が定まっておらず、メールの確認に時間を要していた。 グループウェア（「First Class」）導入後は、グループウェアにて細分化したメールフォルダを設け管理することで、スムーズなメールの確認と職員間の情報共有を可能にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:グループウェアの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑦ G施設 (2024/01/22) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因 (※1)	対策 (※2)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:児童に係る各種記録の作成・確認 ✓ 8:職員の人手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:職員必要台数分のパソコンがないことから、児童記録システム(「チャイルドノート」)上で記録の作成・確認にあたり待ち時間が発生しており、負担が生じる。 8:小規模化・地域分散化するほど、拠点における人員が必要になり、その拠点を任せる必要があることから、リーダーが必要になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:職員必要台数分のパソコンの購入を検討する。 ✓ 8:SNSを活用した施設の広報活動を検討する。
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:職員必要台数分のパソコンの購入費用の助成を検討する。 ✓ 4:BYOD (Bring Your Own Device) のポリシーを定め、職員が自身のICT機器を業務で使用できるように検討する。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 薄黄色塗りつぶし箇所は、「小規模化・地域分散化」に関する内容。

(※2) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑦ G施設 (2024/01/22) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策 (現在工夫していること = ベストプラクティス)	横展開可能性 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:職員間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:児童記録システム導入前は、パソコンの共有フォルダ上に記録を残す形で情報を共有していたが、フォルダ内の検索などに負担が生じていた。 児童記録システム（「チャイルドノート」）導入後は、そこに情報を一本化して記載することで、フォルダを検索する負担がなくなり、確認時間を短縮できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:自治体からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:児童記録システム導入前は、調査に回答するための情報が紙媒体で保管されていたことから、大量の紙媒体から手動で情報を遡ることに負担が生じていた。 児童記録システム（「チャイルドノート」）導入後は、情報をシステム上に一元化して保存することで、調査に回答するための情報収集の負担を解消できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6,12,14,16:児童記録システムの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:国からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:上記の12と同様。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:協議会からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:上記の12と同様。 	

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑧ H施設 (2023/11/27) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因	対策 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:児童に係る各種記録の作成・確認 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4-1:児童が多いことから、児童記録の量が多いため、確認に負担が生じる。 ✓ 4-2:児童記録システムがなく（現在導入を検討中だが県庁と協議が必要）、現状紙で記録を作成・確認しているため、手作業で記録を遡るなど、情報の確認に負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4-1,4-2:児童記録システムの導入を検討する。（児童記録システムの導入にあたっては、職員がオンラインコミュニティ（例:チャボナビ）を活用し情報収集を図ることで、施設の実態に即した児童記録システムを取り入れることとする。）
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4-1,4-2:児童記録システムの導入費用の助成を検討する。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑧ H施設 (2023/11/27) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策 (現在工夫していること = ベストプラクティス)	横展開可能性 (※1)
「施設」関連	✓ 6:職員間の情報共有	✓ 6:グループウェア導入前は、緊急時の連絡方法に苦慮していた。 グループウェア (「LINE WORKS」) 導入後は、スムーズな情報連携を可能にしている。	✓ なし
「自治体」関連	✓ なし	✓ なし	✓ 6:グループウェアの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	✓ なし	✓ なし	✓ なし
その他	✓ なし	✓ なし	✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑨ 施設 (2024/01/10) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因	対策 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5: 決裁業務 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5: 母子生活支援施設には、国が定める「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」上、事務員の配置がないことから、事務員の配置に係る補助がない。そのため、各職員は児童への支援をしながら事務処理を行っており、書類作成の時間が取りづらい、誤字脱字等の負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5: 文章校正ツールの導入を検討する。(文章校正ツールは、無料で活用できるものがオンライン上にあるため、まずは施設が検索の上で活用することを検討する。)
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑨ 施設 (2024/01/10) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策 (現在工夫していること = ベストプラクティス)	横展開可能性 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:児童に係る各種記録の作成・確認 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:日常的に発生する児童との面談や児童相談所等の関係機関との電話内容について、児童記録システムに随時入力することに負担を要していたが、職員間で相談し、事務処理を集中的に実施できる時間帯を設けることで、負担を軽減できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:職員間で相談し、事務処理を集中的に実施できる時間帯を設けることは、費用負担や技術的要因がなく、どの施設でも実施が見込めるため、横展開可能性は高いと史料。
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑩ J施設 (2023/12/22) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因	対策 (※1)
「施設」関連	✓ なし	✓ なし	✓ なし
「自治体」関連	✓ 12:自治体からの調査対応	✓ 12:調査元から紙で調査があった場合、施設の児童記録システム上のデータを紙に転記することに負担が生じる。	✓ 12,14:調査の電子化を検討する。(ただし、ICT機器がなく紙のみで運用する施設がある場合には、紙による調査も併用する。)
「国」関連	✓ 14:国からの調査対応	✓ 14:上記の12と同様。	
その他	✓ なし	✓ なし	✓ なし

(※1) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑩ J施設 (2023/12/22) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対 策 (現在工夫していること = ベストプラクティス)	横展開可能性 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:職員間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:グループウェア導入前は、職員によっては、プライベートのLINEの連絡先を教えてたくない等の理由から、全職員が共通のツールで情報共有ができなかった。グループウェア (「LINE WORKS」) 導入後は、プライベートのLINEの連絡先を教える必要がないことから、全職員がLINE WORKSをを通じて情報共有ができている。また、スケジュール機能やメモ機能を活用し、より効率的な情報共有ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:グループウェアの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑪ K施設 (2023/12/05) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因	対策 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5:各種書類の決裁・とりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5:セキュリティ面に不安があることから、決裁書類は紙で回覧しているため、法人本部と自ホームを行き来する必要があるため、負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5:電子決裁システムの導入を検討する。 (電子決裁システムの導入にあたっては、職員がオンラインコミュニティ (例:チャボナビ) を活用し情報収集を図ることで、施設の実態に即した電子決裁システムを取り入れることとする。)
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5:電子決裁システムの導入費用の助成を検討する。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保障するものではない。

⑪ K施設 (2023/12/05) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策（現在工夫していること＝ベストプラクティス）	横展開可能性（※1）
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:児童に係る各種記録の作成・確認 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:児童に係る記録は、以前から使い慣れているMicrosoft Excelで作成しているが、情報検索がしづらく負担を要することから、児童記録システムの導入を検討中。導入に際しては、ICTに詳しい若手職員等からヒアリングをし、組織的に検討を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:児童記録システムの導入に際して、ICTに詳しい若手職員等からヒアリングをし、組織的に検討を行うことは、無料であり、技術的な要因がないことから、どの施設でも実施が見込めるため、横展開可能性は高いと史料。
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑫ L施設 (2023/10/20) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因 (※1)	対策 (※2)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 7:職員の孤立化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 7-1:拠点の職員が1人勤務が多いことから、孤立や閉塞感を感じる。 ✓ 7-2:拠点の児童が発熱し緊急で病院に搬送する際に、職員が1人勤務であることから、孤立を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 7-1,7-2:施設の組織体制の見直しを検討する。(例.定期的なSVの実施、メンター制度の導入)
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:自治体からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:Microsoft Excelで数式が組み込まれている調査が多いことから、回答内容の加除により数式ズレが起きるため、修正に負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12,14:調査の電子化を検討する。(ただし、ICT機器がなく紙のみで運用する施設がある場合には、紙による調査も併用する。)
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:国からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:上記の12と同様。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	

(※1) 薄黄色塗りつぶし箇所は、「小規模化・地域分散化」に関する内容。

(※2) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑫ L施設 (2023/10/20) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策 (現在工夫していること = ベストプラクティス)	横展開可能性 (※1)
「施設」関連	✓ 6:職員間の情報共有	✓ 6:児童記録システム導入前は、電話やメールなど共有方法が統一されていないことから、共有漏れや認識漏れが生じていた。 児童記録システム (「アイリス」) 導入後は、共有方法が一元化でき、共有漏れや認識漏れが解消できている。	✓ なし
「自治体」関連	✓ なし	✓ なし	✓ 6:児童記録システムの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	✓ なし	✓ なし	
その他	✓ なし	✓ なし	✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑬ M施設 (2023/12/15) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因 (※1)	対策 (※2)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1:ICT機器の管理 ✓ 2:会議録の作成・確認 ✓ 9:職員の対応事項の多岐化 ✓ 10:職員の独善性リスク 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1-1:本園と各拠点間で情報連携できるように各拠点にICT機器を設置しており、ICT機器の管理に負担が生じる。 ✓ 1-2:ICT機器の不具合時に、他の職員が知識を有していないことから、相談してもわからず自身で学び解決せざるを得ないため、負担が生じる。 ✓ 2-1:児童の支援に係る会議が多く、会議録の作成に負担が生じる。 ✓ 2-2:会議録の作成者のスキルに差があり、確認に負担が生じる。 ✓ 9:1人の職員が拠点の児童6人をケアする必要があり、マルチなスキルが求められる。(例.家事洗濯、保護者や児童相談所との連携) ✓ 10:拠点は、本園と離れた閉鎖された空間であり、家庭に近い養育環境を目指すことから、拠点の職員が独善的になる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1-1,1-2:ICT専任職員の配置を検討する。 ✓ 1-2:職員がオンラインコミュニティ(例.チャボナビ)を活用した情報収集を検討する。 ✓ 2-1,2-2:会議録の書き起こし機器の導入を検討する。 ✓ 9,10:施設の組織体制の見直しを検討する。(例.定期的なSVの実施、メンター制度の導入)
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:自治体からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:調査結果がどのように役立つかが不明瞭であることから、調査趣旨に共感しづらいため、調査内容を読み解くのに負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1-1,1-2:ICT専任職員の人件費の助成を検討する。 ✓ 2-1,2-2:会議録の書き起こし機器の導入費用の助成を検討する。 ✓ 12,14,16:施設に求める調査内容の簡素化を検討する。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:国からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:上記の12と同様。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:民間企業や大学生からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:調査元が適切な機関であるかが不明瞭であることから、信ぴょう性がないため、調査内容を読み解くのに負担が生じる。(例.大学生からの調査に研究室の名称がない) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 薄黄色塗りつぶし箇所は、「小規模化・地域分散化」に関する内容。

(※2) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑬ M施設 (2023/12/15) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと ✓ 3:職員の勤怠管理 ✓ 6:職員間の情報共有	対策 (現在工夫していること=ベストプラクティス) (※1) ✓ 3:職員は児童の生活に応じた勤務形態をとっていることから、シフトが約300通りあり、シフト変更や毎日の打刻などの勤怠管理が困難な状態であった。勤怠管理システム (「X'sion(クロスシオン)」) を導入することで、職員はパソコンやスマートフォンから、シフト変更の申請や日々の打刻ができ、タイムリーな勤怠管理ができています。 ✓ 6:小規模化・地域分散化が進むに伴い、児童の情報を確認するために本園に書類を確認する手間などがあり、本園と拠点での児童の情報共有が困難な状態であった。ソフトウェア (「Claris FileMaker」) を導入することで、職員は離れた場所でもパソコン上で児童の情報を閲覧できています。	横展開可能性 (※2) ✓ なし ✓ 3,6:勤怠管理システム・ソフトウェアの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「施設」関連	✓ なし	✓ なし	✓ なし
「自治体」関連	✓ なし	✓ なし	✓ なし
「国」関連	✓ なし	✓ なし	✓ なし
その他	✓ なし	✓ なし	✓ なし

(※1) 薄黄色塗りつぶし箇所は、「小規模化・地域分散化」に関する内容。

(※2) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑭ N施設 (2024/01/08) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因 (※1)	対策 (※2)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:職員の勤務表の作成・更新 ✓ 7:職員の孤立化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:職員の体調不良や児童の状況に応じて勤務変更が毎日発生。勤務変更には、職員から紙の勤務変更届を受領し、情報をMicrosoft Excelの勤務表に転記し全職員の日程を組み替えるといった一連の負担が生じる。(ICTツールで自動化できるといいますが、シフトパターンが複雑であることから適切なICTツールが見つからず、現状の運用となっている。適切なICTツールがあれば、知りたい。) ✓ 7:急速に拠点を増やしたことで、新規採用職員が、本園での実務経験がないもしくは少ない状況で拠点に配属されることから、1人での対応により、負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:勤務表作成ツールの導入を検討する。 ✓ 7:施設の組織体制の見直しを検討する。 (例.定期的なSVの実施、メンター制度の導入)
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:自治体からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12-1:全社協 (=社会福祉法人全国社会福祉協議会) や民間企業等、多岐にわたる機関から類似の調査があり、都度回答するのに負担が生じる。 ✓ 12-2:調査元から紙で調査があった場合に、手書きでの作業や回答した内容を紙で保管することに負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:勤務表作成ツールの導入費用の助成を検討する。 ✓ 12-1:施設に求める調査内容の簡素化を検討する。 ✓ 12-2,14:調査の電子化を検討する。(ただし、ICT機器がなく紙のみで運用する施設がある場合には、紙による調査も併用する。)
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:国からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:上記の12と同様。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 薄黄色塗りつぶし箇所は、「小規模化・地域分散化」に関する内容。

(※2) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑭ N施設 (2024/01/08) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策 (現在工夫していること=ベストプラクティス) (※1)	横展開可能性 (※2)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:児童に係る各種記録の作成・確認 ✓ 6:職員間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4-1:職員によって記録のまとめ方が統一されていないことや記載内容が長くなることで、確認に時間を要していたが、記載マニュアルを設け、職員に周知徹底することで、内容を簡素化できている。 ✓ 4-2:児童への支援について、自身が考える取組でよいかを不安に感じていたが、施設長が好事例をピックアップし、パソコン上で職員に共有を図ることで、支援のフィードバックがなされており、「職員の見守られている安心感の醸成」及び「児童への支援力の向上」につながっている。 ✓ 6:本園と拠点で場所が離れているため、職員の情報共有に負担を要していたが、毎週月金金は、Zoomを活用することで、離れた場所の職員間でも顔を見られるようにしている。(なお、パソコン上の情報共有だけでは、一方通行のコミュニケーションになる恐れがあるため、対面による会議を定期的の実施し、支援の悩み事や好事例を話し合うことで、双方向のコミュニケーションを図るようにしている。) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4-1:記載マニュアルの作成は、費用負担や技術的要因がなく、どの施設でも実施が見込めることから、横展開可能性は高いと史料。 ✓ 4-2:児童への支援内容の好事例を職員間で共有することは、費用負担や技術的要因がなく、どの施設でも実施が見込めることから、横展開可能性は高いと史料。 ✓ 6:Zoomの活用や対面による会議は、費用負担がなく、どの施設でも実施が見込めることから、横展開可能性は高いと史料。
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
その他	<p>(※負担を感じていた事務ではないが施設のベストプラクティスとして以下あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:SNSを活用した広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:地域に開かれた施設となり、児童にいきいきと成長してほしい願いから、Instagram・YouTubeを活用し、施設の取組や児童の様子を発信。これにより、4点の効果があった。 <ul style="list-style-type: none"> ①:写真や動画施設を感じてもらい、職場体験に足を運ぶ大学生や地域の方が増えることで採用につながった。 ②:地域の方に自施設の取組を知ってもらうことで、職員の働くモチベーションが向上。 ③:地域の方に施設の児童を知ってもらうことで、施設に対して特別感を抱かずに身近に交流ができ、地域化につながった。 ④:職員のICTやSNSに関するリテラシーが身についた。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:SNSを活用した広報活動は、職員のICTスキルや、児童の写真投稿にあたっての児童相談所や保護者との綿密な調整が求められることから、横展開可能性は低い。(施設が実施できている背景には、写真投稿前に、児童の家族に対する写真の掲載可否の確認や、リスクマネジメントを施設職員が徹底するための対応マニュアルを用意していることが挙げられる。)

(※1) 薄黄色塗りつぶし箇所は、「小規模化・地域分散化」に関する内容。

(※2) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑮ O施設 (2023/12/07) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因 (※1)	対策 (※2)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:職員の日々の勤怠書類の管理 ✓ 4:児童に係る各種記録の作成・確認 ✓ 9:職員の対応事項の多岐化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:タイムカードの仕組みがないことから、日々の勤怠書類は、手書きで対応しているため、負担が生じる。 ✓ 4:職員必要台数分のパソコンがないことから、児童記録システム（「アイリス」）上で記録の作成・確認にあたり待ち時間が発生しており、負担が生じる。 ✓ 9:乳児をお風呂に入れる際に、今まで職員が4人いる状態なら、分担して対応できたが、小規模化・地域分散化し、職員が少数になることで、職員1人当たりで対応すべき事柄が多くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:タイムカードの導入を検討する。 ✓ 4:職員必要台数分のパソコンの購入を検討する。 ✓ 9:施設の組織体制の見直しを検討する。 (例.定期的なSVの実施、メンター制度の導入)
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:自治体からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12-1:調査によって調査範囲や条件が微妙に異なることから、過去の調査の回答結果の流用ができないため、負担が生じる。 ✓ 12-2:自治体で調査内容を分析する期間が長いことから、施設での回答期間が短いため、負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:タイムカードの導入費用の助成を検討する。 ✓ 4:職員必要台数分のパソコンの購入費用の助成を検討する。 ✓ 4:BYOD (Bring Your Own Device) のポリシーを定め、職員が自身のICT機器を業務で使用できるように検討する。 ✓ 12-1,12-2,14:調査の電子化を検討する。(ただし、ICT機器がなく紙のみで運用する施設がある場合には、紙による調査も併用する。)
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:国からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:上記の12-1,12-2と同様。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 薄黄色塗りつぶし箇所は、「小規模化・地域分散化」に関する内容。

(※2) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑮ O施設 (2023/12/07) 【ベストプラクティス】

「施設」関連 「自治体」関連 「国」関連 その他	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策（現在工夫していること＝ベストプラクティス）	横展開可能性（※1）
	✓ なし	✓ なし	✓ 13:児童データベースは職員が独自で作成していることから、職員の個人の力量に左右されるため、横展開可能性は低。（ただし、職員がオンラインコミュニティ（例.チャボナビ）を活用し情報収集を図ることで、横展開可能性は高となる。）
	✓ 13:自治体への申請・報告書類の作成・確認	✓ 13:児童の情報が紙媒体で点在していることから、情報の収集が困難で状態であったが、 児童データベースを作成することで、データベースから情報収集し、効率的に回答できている。	✓ なし
	✓ なし	✓ なし	✓ なし
	✓ なし	✓ なし	✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑩ P施設 (2024/01/09) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因	対策 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:職員の勤務表の作成・更新 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:勤務表は、施設の勤務形態にあった勤務表作成のシステムが見つからず、Microsoft Excelで作成しているが、児童の状況に応じて勤務変更が毎日発生しており、都度、Microsoft Excelを更新することに負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:勤務表作成ツールの導入を検討する。
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 13:自治体への職員加算資料（例、毎月の措置費資料や中間報告資料）の作成・確認 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 13:職員加算資料について、毎月の措置費上の提出資料や上半期・下半期の中間報告資料など、自治体から求められる資料が多く、作成・確認に負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3:勤務表作成ツールの導入費用の助成を検討する。 ✓ 13,15:施設に求める資料の簡素化を検討する。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 15:国への職員加算資料の作成・確認 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 15:上記の13と同様。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16-1:児童相談所からの書類の授受 ✓ 16-2:保護者との電話対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16-1:児童相談所から児童に係る大量の資料を受領するが、情報セキュリティの観点から、紙で提出されており、それを都度、児童記録システムに転記することに負担が生じる。 ✓ 16-2:保護者とのやり取り時に、電話はつながらないが、スマートフォンのショートメッセージでつながる場合が多いことから、公用スマートフォンを導入しているが、不定期に連絡がくるため、負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16-1:関係機関（市区町村・児童相談所・施設）が共通のネットワークを構築し、児童相談所から施設に情報を提供することなく、そのネットワークの中で、児童の情報が一元的に管理できるように検討する。（例、大分県中津市のモデル事業） ✓ 16-2:保護者から連絡を受け付ける時間を定め、保護者に周知することを検討する。

(※1) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑩ P施設 (2024/01/09) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策 (現在工夫していること = ベストプラクティス)	横展開可能性 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:児童に係る各種記録の作成・確認 ✓ 5:施設内の決裁手続き 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4-1:Microsoft Wordでの資料作成時は、同時編集ができず、順番待ちの時間が生じていたが、入所児童管理システム (「抱～いだき～」) を導入することで、同時編集が可能になり、順番待ちの時間が解消できている。 ✓ 4-2:入所児童管理システム (「抱～いだき～」) は、児童の名前や年齢等の項目で整理されているため、情報の収集や項目に沿った記載がスムーズになっている。(ICTによる情報共有は送り手の一方通行になりがちであることを認識し、「抱～いだき～」上で情報を確認後に、対面でコミュニケーションをとるように工夫している。) ✓ 5:OSのバージョンアップによりパソコンの動作が遅いことから、サーバー上のファイルを開くのに時間を要し決裁手続きに負担が生じていたが、ICT専任であるシステム管理責任者がOSのバージョンアップに対応することで、パソコンの操作が遅くならないようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5:ICT専任職員の配置は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国が人件費の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4-1,4-2:入所児童管理システムの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑰ Q施設 (2024/01/12) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因	対策 (※1)
「施設」関連	✓ 3:職員の勤務表の作成・更新	✓ 3:施設のシフトパターンが複雑であるため、自動化できず手書きで作成しており、負担が生じる。	✓ 3:勤務表作成ツールの導入を検討する。
「自治体」関連	✓ なし	✓ なし	✓ 3:勤務表作成ツールの導入費用の助成を検討する。
「国」関連	✓ なし	✓ なし	✓ なし
その他	✓ なし	✓ なし	✓ なし

(※1) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保证するものではない。

⑰ Q施設 (2024/01/12) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策 (現在工夫していること = ベストプラクティス)	横展開可能性 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:職員間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:グループウェア導入前は、共有する内容毎に方法がバラバラで統一されていなかったため、(例、研修に係る通知は紙の回覧、児童に係る内容は対面等)、確認に負担が生じていた。 グループウェア (「J-MOTTO」) 導入後は、各職員のパソコンで児童の情報を同時に閲覧が可能のため、情報共有の時間が短縮され、また共有方法の認識が統一され、スムーズな確認ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:グループウェアの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	
	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑱ R施設 (2023/12/05) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因 (※1)	対策 (※2)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2:会議・研修の資料作成や企画 ✓ 7:職員の孤立化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2:パソコンが経年劣化しており動作が遅いことから、資料作成する速度が遅くなるため、負担が生じる。 ✓ 7:拠点の職員が少人数であることから、孤立や閉塞感を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2:処理速度の速いパソコンの更新を検討する。 ✓ 7:施設の組織体制の見直しを検討する。 (例.定期的なSVの実施、メンター制度の導入)
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2:パソコンの更新費用の助成を検討する。 ✓ 2:BYOD (Bring Your Own Device) のポリシーを定め、職員が自身のICT機器を業務で使用できるように検討する。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 薄黄色塗りつぶし箇所は、「小規模化・地域分散化」に関する内容。

(※2) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑱ R施設 (2023/12/05) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策 (現在工夫していること = ベストプラクティス)	横展開可能性 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:児童に係る各種記録の作成・確認 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:児童記録システムがなく紙媒体であることから、児童の記録の同時編集ができず、順番待ちの時間が生じていた。 児童記録システム（「チャイルドノート」）を導入することで、同時編集が可能になり、順番待ちの時間が解消できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:自治体からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:職員が同時に確認・編集できるシステムがなく、調査の回答内容の作成・見直しに時間を要し負担を感じていた。 書類を同時確認・編集できるシステムを導入することで、解消できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4:児童記録システムの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。 ✓ 12,14:書類を同時確認・編集できるシステムの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:国からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:上記の12と同様。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑱ S施設 (2024/01/12) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因	対策 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2:施設内の行事対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2:児童の支援に係る会議が多いため、都度会議録を作成する必要があり、負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2:会議録の書き起こし機器の導入を検討する。
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2:会議録の書き起こし機器の導入費用の助成を検討する。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑱ S施設 (2024/01/12) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策 (現在工夫していること = ベストプラクティス)	横展開可能性 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:職員間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:ソフトウェア導入前は、情報共有を紙による回覧で行っていたことから、同時かつ広範囲への共有ができなかった。 ソフトウェア (「Claris FileMaker」) 導入後は、各職員のパソコンで児童の情報を同時に閲覧が可能のため、情報共有の時間を短縮できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6:ソフトウェアの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	
	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

⑳ T施設 (2023/12/11) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因	対策 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2:パソコンを使用した各種資料作成 ✓ 3:職員の勤怠管理 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2-1:職員必要台数分のパソコンがないことから、資料作成にあたり待ち時間が発生しており、負担が生じる。 ✓ 2-2:パソコンが経年劣化しており動作が遅いことから、資料作成する速度が遅くなるため、負担が生じる。 ✓ 3:職員は利用者の生活に応じた勤務形態をとっていることから、シフトパターンが多くあるため、勤怠管理が複雑で負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2-1:職員必要台数分のパソコンの購入を検討する。 ✓ 2-2:処理速度の速いパソコンの更新を検討。 ✓ 3:勤怠管理システムの導入を検討する。
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:自治体からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12:似たような調査が頻繁にあるが微妙に様式が異なることから、回答内容の流用ができないため、負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2-1:職員必要台数分のパソコンの購入費用の助成を検討する。 ✓ 2-2:パソコンの更新費用の助成を検討する。 ✓ 2-1,2-2:BYOD (Bring Your Own Device) のポリシーを定め、職員が自身のICT機器を業務で使用できるように検討する。 ✓ 3:勤怠管理システムの導入費用の助成を検討する。 ✓ 12,14:施設に求める調査内容の簡素化を検討する。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:国からの調査対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 14:上記の12と同様。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保证するものではない。

⑳ T施設 (2023/12/11) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策（現在工夫していること＝ベストプラクティス）	横展開可能性（※1）
「施設」関連	✓ 6:職員間の情報共有	✓ 6:若年の母子が抱えている課題が年々深刻化していることから、対応する職員のメンタルケアがより重要となっているため、場所・時間の制約なく、面談を行うことが重要であるとの考えから、Zoomを導入。Zoom導入後は、移動時間や場所の制約なく、スムーズな面談ができています。	✓ 6:Zoomの導入は、費用負担がなく、どの施設でも実施が見込めることから、横展開可能性は高いと史料。
「自治体」関連	✓ なし	✓ なし	✓ なし
「国」関連	✓ なし	✓ なし	✓ なし
その他	✓ なし	✓ なし	✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

②1 U施設 (2023/12/15) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因	対策 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1:備品管理 (例.お米・防災食・児童の台帳・会議の機器) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1:備品の種類が多岐にわたりがつ日常的に使用することから、備品の所在確認・管理を毎日行う必要があるため、負担が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1:備品管理ツールの活用を検討する。
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

(※1) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保证するものではない。

②1 U施設 (2023/12/15) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策（現在工夫していること＝ベストプラクティス）	横展開可能性（※1）
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5:職員の入退所に伴う手続き・決裁（例、社会保険・失業保険） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5:職員の入退所の書類について、字の読みづらさや記載内容の不明瞭さから、内容が理解しづらく負担が生じていた。 電子申請（「gbizID」）を導入することで、記載内容に不備があるとエラーが表示されたり、申請先に迅速にチェックしてもらうことができるため、負担を軽減できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5:申請元の行政機関が電子化を推進するかによるため、横展開可能性は低。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし

（※1）本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

② V施設 (2023/11/29) 【課題】

	負担を感じている・悩んでいること	原因	対策 (※1)
「施設」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なし
「自治体」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:各種補助金内容の確認 (例. 行政からの補助金、民間の奨学金等) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:各種補助金の情報が全て掲載され一元化されたものがないことから、様々な機関の情報を確認する必要があるため、負担が生じる。(全社協がまとめてくれているが、情報が網羅されていないことや、見やすさに難を感じる。) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:各種補助金を一元化してまとめたページの作成を検討する。
「国」関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:各種補助金内容の確認 (例. 行政からの補助金、民間の奨学金等) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:上記と同様。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:各種補助金内容の確認 (例. 行政からの補助金、民間の奨学金等) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 16:上記と同様。 	

(※1) 本欄に記載している「対策」は、施設職員が負担を感じている・悩んでいることへの対策として事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。

② V施設 (2023/11/29) 【ベストプラクティス】

	負担を感じていた・悩んでいたこと	対策（現在工夫していること＝ベストプラクティス）	横展開可能性（※1）
「施設」関連	✓ 6:職員間の情報共有	✓ 6:児童記録システム導入前は、児童・職員の情報を一元的に見られる仕組みがなく、多岐にわたる資料で確認し負担を感じていた。 児童記録システム（「クラウド日報管理自立支援システム」）導入後は、情報をシステムに一元化でき、負担を解消できている。	✓ なし
「自治体」関連	✓ なし	✓ なし	✓ 6:児童記録システムの導入は、資金が潤沢にない法人では難しい可能性もあるが、国・自治体が費用の助成を検討することで、横展開可能性は高まると思料。
「国」関連	✓ なし	✓ なし	✓ なし
その他	✓ なし	✓ なし	✓ なし

(※1) 本欄に記載している「横展開可能性」は、ある施設の職員が工夫していることを他施設に横展開することが可能かを事務局が整理した一案であり、実現可能性を保証するものではない。



お問合せ先
KPMGコンサルティング株式会社
T: 03-3548-5111
E: kc@jp.kpmg.com
kpmg.com/jp/kc

本報告書の著作権は、KPMGコンサルティング株式会社に帰属します。こども家庭庁・自治体・社会的養護施設を除き、弊社の事前の承諾なく、本報告書の全部または一部を複製、転載、配布等を行うことを禁止します。ただし、著作権法において認められている利用については弊社の承諾なくご利用できます。本報告書には、公開情報とともに、本調査に利用する承諾を得たうえで、ヒアリング等で第三者から提供を頂いた情報も含まれています。これらの情報を含め、報告書の内容には万全の配慮をしておりますが、その保証をするものではありません。本報告書は、利用者ご自身の責任においてご利用ください。掲載されている情報の利用に起因して生じる結果に対して、弊社は一切の責任を負いませんのでご注意ください。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。本文中では、Copyright、TM、R マーク等は省略しています。

© 2024 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved.

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.